

日刊 磐城時報

福島縣石城郡平町編者 岡田 弘 成
印刷所 石城郡平町編者 岡田 弘 成
電話 一〇五五
代印所 石城郡平町編者 岡田 弘 成
電話 一〇五五
代印所 石城郡平町編者 岡田 弘 成
電話 一〇五五

平町議候補者

三十六名出揃ふ

秘案を盡して白熱戦 當選点は百票内外

平町會議員選挙は愈々十日の後の引いても四千二百票に迫り白熱戦が演ぜらるゝに至り動かぬところ、これを候補者つたが、二十日月見町から根本に割當ると一八平均百二十票強品藏、新川町から齋藤角治、極となり、出揃つた三十六騎中餘隼小路から藤川喜三郎、古鍛冶り甚だしい強弱の差はないもの町永山富廣の各氏立候補し更に見られ前昭和四年の町議戦南町から労働平和會の丸山春藏に投票數三千九百五十四、今回氏も出馬すると傳へられてゐる 同様定員六名超過の三十六候補が兎に角決定されてゐた候補者で最高百八十七票、最低七十三は全部出揃つたかたちである。 票が當選し、七十票は落選の憂既報の候補者に右四名を加へる 目を見てゐるから何んと言つてと三十六名となり大混戦が演ぜる 當選圏内に入るには百票の確られるわけになつた。候補者三票を得なければ先づ安心とは行十六名とすれば有権者名簿作成が、この處候補者も運動員も當時の有権者總數は四千三百四十票の目標に突進せねばならぬ十二名で、死亡、轉居等で凄惨な空氣が漂つてゐる。

八年度匡救事業として

國道の側溝工事

工費半額寄附を決議 平町會

平町の昭和八年度匡救事業第三救事業である國道の舗装工事の小學校裏堤の内から鎌田町に通前長橋町、鎌田間の道路改修する道路新設工事は懸から配當工事(側溝)は工費二萬五千四百された工費が九千八百圓で約五割で實施される事となり平町に千圓の不足であるため之を保留對し工費の半額を寄附を命じてする事となつた、而して縣の匡來たので二十一日午後一時から

道路交通

情勢調査

縣では道路政策の基本中心となるべき道路交通情勢調査を來る等の場合には平常日に行ふこと六月一、二、三の三日間と十月するわけである。

海軍紀念日

吉田大尉の講演會

平町各中等學校では來る二十七日に歓迎され、次第に大衆化した日の海軍紀念日當日陸軍大學教授高木武雄大佐に講演方を交渉設立極力品質改良と販路擴張に中であつたが、同大佐が都合つて努めてゐる。

泉産のメロン

販路擴張

石城メロンを代表して東京、仙臺乃至北海道まで移出されてゐる泉メロンは現在栽培地四百坪の經營者十三名で、この年産額二千余貫一萬二千余圓の巨額に達してゐる。目下の出廻りは第二期で相場は五十割上物七十割上物七割上物をうける事になつたが、磐城球後援會では二十一日午後七時

磐陽野球後援會

島、今井兩選手歓迎會

二十一日マルトモホールで

比佐代議士

報告演説會

比佐代議士は左記日誌で開く事となつた

三ツ兒を産む

松竹梅と命名

石城郡内郷村字内町磐城炭礦の紀念號を美装し全國各地に感夫廣野千次(四〇)妻むら(三七)謝旅行中であるが、二十二日は本月一日夜めづらしい女の兒前十時平町到着各官衙、新聞社

六萬圓紀念號

自動警報器

平保線區では石城郡好間村大字愛谷地内磐城平赤井間踏切に自動振鈴警報器を裝置し交通事故を防止することになつた。

十八日、九、二十の三日間と合せて二回六日間に行つて執行することになつたが、平土木監督所管内の調査箇所は神谷、平、内郷、渡邊、錦の五ヶ所第一回は午前五時から午後九時まで、第二回(十月)は午前六時から午後八時までの間(市内は午後十二時)までに於ける歩行者、牛、馬、人力車、自動車、荷車、乗用自動車、貨物自動車、電車等の數を指定場所に於て調査するもので、調査日が雨とか祭日等の場合には平常日に行ふことになつた。

兩親を相手

身分確認訴訟

子供等の主張通る

石城郡赤井村日渡船生新一(一八)は兩親が故意に自分等兄弟三人を他人の戸籍に入れてゐるのを最近知り實父濱次郎並に實母はつよを相手取り平支部に身分確認の訴訟を提起、十九日午

自力更生の飯野村で

更生經濟會議

四倉大敷網

昭和八年度の自力更生村に指定された飯野村では二十日午前十時から同村小學校で更生經濟會議を開き郡農會青山技手、郡駐在米山技手、同成田農林主事補が出席質疑答があつた。

比佐代議士

報告演説會

比佐代議士は左記日誌で開く事となつた

三ツ兒を産む

松竹梅と命名

石城郡内郷村字内町磐城炭礦の紀念號を美装し全國各地に感夫廣野千次(四〇)妻むら(三七)謝旅行中であるが、二十二日は本月一日夜めづらしい女の兒前十時平町到着各官衙、新聞社

六萬圓紀念號

自動警報器

平保線區では石城郡好間村大字愛谷地内磐城平赤井間踏切に自動振鈴警報器を裝置し交通事故を防止することになつた。

磐陽野球後援會

島、今井兩選手歓迎會

二十一日マルトモホールで

比佐代議士

報告演説會

比佐代議士は左記日誌で開く事となつた

三ツ兒を産む

松竹梅と命名

石城郡内郷村字内町磐城炭礦の紀念號を美装し全國各地に感夫廣野千次(四〇)妻むら(三七)謝旅行中であるが、二十二日は本月一日夜めづらしい女の兒前十時平町到着各官衙、新聞社

六萬圓紀念號

自動警報器

平保線區では石城郡好間村大字愛谷地内磐城平赤井間踏切に自動振鈴警報器を裝置し交通事故を防止することになつた。

来る三十日執行せらるべき町會議員選舉に際し磐陽野球界の恩人

吉田金作氏

區民の熱誠なる推薦により逐鹿戦場に出馬決意致され候 御承知の如く同氏は三十餘年我海運界に身を置き日本郵船會社の名船長として東西兩半球の貿易港に足を印せざるなき國際人たるのみならず殊に歐洲大戰當時はコシヤ丸船長として獨乙エムデン號の慘禍にむびゆる歐洲航路に幾度の航行を重ね何等禍も無きを得たる剛膽の人士に御座候 今や功なり名遂げ悠々故山に自適する境涯にありながら郷土愛に燃ゆる同氏が磐陽野球界向上の爲に貢献せる功績は吾等フアン一同の感激する所に御座候 如斯大陸的な氣宇と眞摯なる信念を持つ純情の郷土人こそは町會の淨化を計る最適任者之信じ推薦するものに候 日進月歩進展の途上に在る平町政刷新の爲め又磐陽野球界向上の爲めにも實に重大なる意義を有する事なれば御賢察被成下大多數を以つて當選の榮冠を得せしめらるゝ様御援助賜り度懇望する次第に御座候 敬具

磐陽野球後援會有志

- 阿部 政右衛門
- 新田 春
- 柴田 徳
- 石川 友次
- 井坂 久次
- 熊木 謙三
- 高木 忠三
- 外幹 事一

推薦廣告

四倉町會議員候補者

大和田安太郎君

昭和八年五月二日 責任者 四倉町字本町一三九 渡邊米藏

平町會議員候補者

關内正一君

を推薦す

推薦者

平町二丁目

- 鈴木 卷造
- 田井 文
- 三川 友次
- 石野 榮三
- 丹内 慶次
- 關田 藤助
- 坂内 次郎
- 長瀬 延太郎
- 里見 金太郎

滋養、強壯劑として愈々好評

粟守酒

朝の一盃は精力の源泉、晩の一盃は休眠の助力

粟守酒特約店 大平屋藥店 代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話四六二)

推薦廣告

四倉町會議員候補者

古河定兵衛君

君は資性温厚にして愛町の至誠燃ゆる如く任侠またきよくすべきもの多く町議として最適任と認め推薦仕候間何卒同君に御投票賜はり度懇願奉り候 敬白 昭和八年五月二十日 四倉町字仲町六七 高木龜松

推薦廣告

長谷川西次郎君

は人格識見共最適任のみならず多年町會議員として町政に盡すいしつゝあり茲に我等は再び推薦致し候間何卒諸賢の深甚なる御同情と御援助に依りて當選の榮を得せしめたく伏して奉懇願候 敬具 昭和八年五月二十日 責任者 四倉町字仲町九八片 寄留松

推薦廣告

四倉町會議員候補者

長谷川長太郎君

は四倉町において堂々たる材業を営み一般地方より信用厚く町自治に精通し犧牲的精神を盛にして果敢なる決闘力に富み町政刷新の圖志として最適任者と認め茲に推薦仕候間何卒諸賢の御共鳴を賜り當選の榮を荷はしめられ度切に懇願仕候 敬具 昭和八年五月二十日 責任者 四倉町字新町卅一 青木榮三郎

推薦廣告

四倉町會議員候補者

豊田耕作君

は新進有位の士にして人格識見共に備へ意志堅固なる最てき任者として推薦候間是非同君のために諸士の御同情と御援助を賜り度伏して御願申上候 敬具 昭和八年五月二十日 四倉町字仲町百四十七番地 責任者 佐藤廣次

推薦廣告

四倉町會議員候補者

菅波末吉君

は資性温厚にして愛町の至誠燃ゆるが如し任侠またきよくすべきもの多く町議として最適任と認め推薦仕候間何卒同君に御投票賜はり度懇願奉り候 敬具 昭和八年五月二十日 四倉町字新町一四 責任者 佐藤定次郎

推薦廣告

四倉町會議員候補者

中野捨與君

は多年町政に干與し町自治に對する効甚大にして再び最適任者と認め推薦仕候間貴家の深甚なる御援助を賜り度偏に御願ひ申上候 敬具 昭和八年五月二十日 四倉町字本町五八 責任者 佐藤唯之助

推薦廣告

五月三十日執行の四倉町會議員の改選に際し候補者として

小港宗吉君

は人格識見共最適任者のみならず多年町會議員として町政に盡すいしつゝあり、こゝに我等は再び推薦致し候間何卒諸賢の深甚たる御同情と御援助に依りて當選の榮を得せしめたく伏して奉懇願候 敬具 昭和八年五月二十日 四倉町字本町八十八番地ノ二 責任者 大河原米松

推薦廣告

四倉町會議員候補者

佐藤態藏君

が立候補致しましたが目下當落の危境にありませ何卒貴下の清き一票は同君へ御惠投下さりて當選出來ますやう伏して御願ひ申上げます 昭和八年五月二十日 四倉町字本町十六番地 責任者 山野邊寅太郎

推薦廣告

四倉町會議員候補者

小港平次郎君

は多年の町會議員として町自治に盡すいし今般の改選に際し最適任と認め推薦仕候間同君のために来る五月三十日は諸賢の清き一票を御惠投下さりて當選の榮を賜り度伏して奉懇願候 啓具 昭和八年五月二十日 四倉町新町六五 責任者 松本文太郎

推薦廣告

四倉町會議員候補者

鈴木幸次郎君

は新進熱血兒にして町自治の現状をなげき今般同氏を最適任者と認め自治の淨化に就て同は同君に倣つもの甚だ多く考候間是非共深甚の御同情に依り當選の榮を得せしめられたく伏して奉懇願候 敬具 昭和八年五月二十日 四倉町字本町七十一 責任者 大谷義雄